

ストーブも氷も準備!! 裸婦デッサン会暑く熱く

西支部 中村 均

恒例の裸婦デッサン会は真崎コミュニティセンターで7月18日・19日の両日暑い中行われました。1日目は36名、2日目32名の参加でした。

台風の接近や雨続きの天候など、前日までの不安を忘れさせるように朝からうだるような暑さの中、大きなキャンバスを各自会場へ持ち込みました。

スラリと背が高く、白い肌のモデルさんに真剣に集中する目と目。汗を拭き拭き熱心にキャンバス上に動く筆。20分の奮闘です。次第にデッサンも終わり、色がついてきます。「ハイ休憩です。」の声で一斉に飛びつく冷たい飲み物。喉をうるおし一息付いたところでお互いの作品に興味しんしん。

この繰り返しの、暑い二日間も無事終わりました。白いキャンバスもそれなりの作品になりました。

準備から片付けまで皆さんのご協力を頂きましたこと、心からお礼申し上げます。

《追記》 今回の裸婦デッサン会では、床に敷く濃茶色のタオルケットとモデル着座用のバスタオルを使用しました。余計な反射光を押さえるためのものです。両品とも美術連盟の備品であり文化協会部室4号館に保管しています。



だいぶ描けてきたところで自分のデッサンを再確認。

ニコニコ笑顔で家路に

文化協会主催による「夏休み子ども絵画教室は、8月1日、15名の美術連盟会員の協力を得て実施されました。

午前と午後にそれぞれ40名、計80名の参加があり、子どもたちは水を飲むのも忘れて、熱心にそれぞれの課題に取り組みました。子どもだけでなくきっと親もほっとしたことでしょう。解散するときは、皆ニコニコ顔でした。(事務局)



構図や色のアドバイスをします。

関口さんの情熱に感動合評会熱心に

副理事長 棚井 哲雄

今回で4回目となる「合評会・研究会」は8月8日に開かれ、8名の参加者で、作品は10点でした。

描いた自分は気づかない部分、他の方から見たら気になっていたり、気になった部分は共感されたりと、多くの方の貴重なご意見は参考になりました。

年齢を出して失礼とは思いますが、仲支部の関口さんは、80歳を超えた今でも、7月に大洗漁港で描いたという、30号と20号の絵はすばらしい出来映えでした。

「私は本当に絵を描くのが好きなんです・・・。」という情熱が伝わって来ました。

絵を持ち込まなくても、いろいろな感想を聞くことも勉強の一つという意味で会員の皆さんの今後の参加を期待します。



時には近くによってそれぞれの意見を交わします。

東支部

吉田ミサヲさんに Tea タイム



絵を描くようになったのは、いつごろですか、何かきっかけがあったのでしょうか。

1980年頃、子育ても一段落し時間的にもゆとりができたので、何か始めようと思い「絵」にしました。弟が美術系の大学を出たので、身近に「絵」があったからかと思いました。

絵を描き続けて良かったと思うことがあったら教えてください。

いろいろとつらいこともありますが、絵を描いていると、心身ともに健康でいられるような気がしています。ありがたい事だと思います。

吉田さんの作品は以前と画風が変わってきたように思われますが、絵にたいする思いなど教えてください。

以前に描いていたようなやわらかい絵も大好きです。今は、年を重ねてきたので、ちょっと大胆に表現できたらなーと堅めの絵に挑戦しています。これまでに何度か絵を描いている時、心が震えるほど高揚したことがあります。最近はさっぱり無いのが寂しいですが、またそんな瞬間が来たらいいなと思っています。

好きな作家を教えてください。どういうところが好き?

どの絵を見ても、それぞれに皆いいなーと思っていました。最近はポール・ゴーガンが特に好きです。大胆な色彩と輪郭線がかもし出す情熱。原始的だけれど精神的なものを追求しているのが伝わってきて素晴らしいと思います。

座右の銘などありましたら、お聞かせください。

朝起きた時、布団の中で、「やるしかない!」と自分に言い聞かせています。



「枯れたひまわりに永遠の生命を吹き込みたい」という吉田さん

おめでとう! 入賞、入選

第47回

水戸市芸術祭

日本画・洋画・彫刻・工芸美術：6.14(日)～6.26(金)

水戸芸術館 現代美術ギャラリー



奨励賞 木村 隆 「支える」



佐藤 政一 「箱根スカイライン」



神永 マサ子 「古代への扉」



柴 量子 「夕餉のあと」



奥野 光江 「ヒラベ」

Information

双風展	9月6日～9月13日	茨城県天心記念五浦美術館(展示室B,C)【照沼・村田】
21世紀新美術会メンバーズ展	9月8日～9月13日	県民文化センター【仲田他】
日立市芸術祭	9月12日～9月20日	日立シビックセンター
新構造展	9月19日～9月24日	東京都美術館 【高橋・門前他】
ノン・ブラック女流展	9月27日～10月3日	県民文化センター 【照沼・村田】
二人展	10月4日～10月10日	東海ステーションギャラリーA【日座久隆・彬人】
日帰り秋のスケッチ	10月10日	湊沼方面 美術連盟(南支部)
創造茨城支部美術展	10月25日～10月31日	東海ステーションギャラリーA【波澄・神永】
県芸術祭	10月31日～11月15日	近代美術館(洋画・日本画・工芸等)
文化祭	10月31日～11月3日	東海村総合体育館

パレット編集員 木村・高野・塙 イラスト：高野 皆様からの情報をお待ちしています。